



Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

28日

ドル円は月末に絡んだ本邦輸出企業の売りに押され105.27円まで下げたが、海外時間に入ると反発。ダウ平均が一時540ドル超上昇したことでクロス円が買われると105.60円台まで切り返した。

29日

前日に続き、ドル円には本邦輸出企業の売りが持ち込まれ105.34円まで値を下げた。ただ、日本株高が支えとなり欧州序盤には105.69円まで持ち直した。

30日

ドル円は月末とあって仲値にかけては本邦実需勢の買いが観測されると105.80円まで上昇した。米大統領候補者の討論会后に日米株価指数が総崩れとなると売られたうえ、月末・期末のロンドン・フィキシングに絡んだドル売りも観測されると105.40円まで失速した。

1日

8月米PCEや前週分の米新規失業保険申請件数が予想より強い内容となったことで米長期金利が上昇すると、ドル円は一時105.73円まで上げた。ただ、9月米ISM製造業景気指数が弱かったため上値は限られた。

2日

トランプ米大統領の新型コロナウイルス感染を受けてリスク・オフの動きが強まり一時104.94円まで下落した。ただ、「トランプ大統領の症状は軽度」と伝わったほか、米与野党が追加経済政策の協議を続けており、「近く何らかの合意があり得る」との観測が強まると、ダウ平均の急速な持ち直しとともに105.39円付近まで切り返した。

総括

先週のドル円はもみ合いとなりました。週後半までは105.60円を挟んで方向感のない動きが続いていた。ただ、トランプ米大統領が新型コロナウイルスに感染というショッキングなニュースに対して株安とともに下落。一時105円を割り込む場面があった。一方で、その後は米経済対策合意への期待感から下値を切り上げて週末の取引を終了した。

先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	予想値	結果
30日	21:15	水	USD	ADP雇用統計	前月比	9月	42.8万人	64.8万人	74.9万人
30日	21:30	水	USD	GDP確定値	前期比年率	4-6月期	-31.7%	-31.7%	-31.4%
1日	8:50	木	JPY	日銀短観・大企業製造業	*	7-9月期	-34	-23	-27
1日	21:30	木	USD	PCEコアデフレーター	前年比	8月	1.3%	1.4%	1.6%
1日	23:00	木	USD	ISM製造業景況指数	*	9月	56.0	56.3	55.4
2日	18:00	金	EUR	HICP速報値	前年比	9月	-0.2%	-0.2%	-0.3%
2日	21:30	木	USD	非農業部門雇用者数変化	前月比	9月	137.1万人	85.0万人	66.1万人

一言コメント・・・前週は米重要指標の発表が相次ぎましたが、指標への反応は鈍く、英国とEUの通商協議や米大統領選テレビ討論会などに注目が集まりました。米与野党の追加経済政策を巡る協議にも注目が集まっています。

先週の注目された要人発言

- 28日18:34 ラムステンBOE副総裁「マイナス金利をすぐに取り入れようとはしていない」「BOEの中心的な立場は着実な景気回復」「ウイルス、米国の選挙、ブレグジットなどの不確実性とリスクがある」
- 28日22:53 ラガルドECB総裁「インフレは今後数カ月、マイナスが続くだろう」「ユーロ上昇はインフレ率を押し下げるだろう」「ECBは必要に応じて手段を調整する用意」
- 29日23:24 ベイリーBOE総裁「5月以降、非常に急激で迅速な回復が見られた」「この回復は不均一だった」「マイナス金利活用について判断を下していない」
- 30日10:14 トランプ米大統領「我々は選挙に勝ったので、次期最高裁判事を選ぶ権利がある」「オバマケアは良くない。我々が良くした」「数週間後にワクチンが出来る。タイミングは当局者と意見が異なる」
- 30日10:16 バイデン民主党候補「次期最高裁判事を選挙前に選ぶのは適切ではない」「医療面でトランプ米大統領の政策は国民に全く役になっていない」
- 1日03:27 米共和党のマコネル上院院内総務「経済対策巡り、米共和党と民主党は大きな隔りがある」
- 2日00:05 ペロシ米下院議長(米民主党)「米景気対策の合意は可能だと希望を持っている」
- 2日10:54 トランプ米大統領「自主隔離を開始する」「私と妻が新型コロナウイルスで陽性だった」
- 2日23:34 バルニエEU離脱首席交渉官「英国との通商協議に進展ない」

一言コメント・・・英金融当局者の発言を受けてマイナス金利導入観測が後退するとポンドが買われる場面がありました。注目の英国とEUの首席交渉官級による第9回協議は大きな進展がなく終了しましたが、引き続き協議の行方に注目が集まっています。また、前週末にはトランプ大統領の新型コロナ感染が判明しリスク・オフの動きが強まりました。

今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
5日	23:00	月	USD	ISM非製造業指数	*	9月	54.6		54.6
6日	12:30	火	AUD	RBA政策金利	*	*	0.25%		0.25%
6日	17:35	火	EUR	ラガルドECB総裁発言	*	*	*	*	*
6日	23:40	火	USD	パウエルFRB議長発言	*	*	*	*	*
7日	27:00	水	USD	FOMC議事要旨	*	*	*	*	*
8日	20:30	木	EUR	ECB理事会議事要旨	*	*	*	*	*
9日	21:30	金	CAD	新規雇用者数	*	9月	24.58万人		15.50万人

今週の注目は・・・FOMC議事要旨

週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
 - 荻野金男
 - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
 - 今井雅人
 - よろずのつぶやき

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。